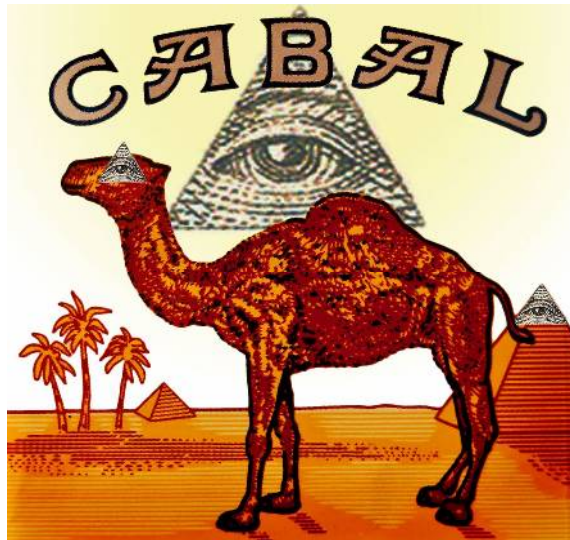


## 370 便機：「陰謀団」の背骨を折る最後のわら？（4の2）

David Wilcock

April 6, 2014



あらゆる英雄の旅は偉大な悪漢を必要とする

ここまで「陰謀団」の存在という悪い話題ばかりだったので、いくつかよい話題を取り上げてバランスを取ろうと思う。

「よい」と私が言うのは、常に私の仕事の大きな焦点であった「不気味な形而上学的な問題」を意味する。

30年このかた、私は科学と霊が会う場所——この2つが結局は同じことを言っているところ——を見出そうと努力してきた。

私の最初の本 *The Source Field Investigations* は、「至高の存在」を信ずる 92%の人々（リンク）をサポートする 1000 以上の科学的文献をあげた意欲作であった。

懐疑論者たちもまた、現行の、不毛の死んだ宇宙モデルを永遠に崩壊させようとする、信頼される、学位をもつ人たちからのデータの山に出くわすだろう。

出版者は 700 ページを 500 ページにカットしたが、含まれたデータのほとんどは失われていないので、各ページが新しい情報に満ちている。

私は、DNAの神秘を広く論じているこの本の前半だけに対して、名誉博士号を与えられた。

要するに、宇宙は生きているという決定的な証拠を我々はもっている。量子領域の基本的な“背景エネルギー”が、非生命物質からDNAを作っているのである。

『根源の場の研究』のほかに、この新しい科学モデルを学ぶ最上の方法は、私の週一度のテレビシリーズ **Wisdom Teachings** (リンク) を見ていただくことである。

第 2 の本で私は、宇宙は単に生きているだけでなく人格をもっており——92%の人々が信じているように——我々みんなが従うべき計画をもっていることを証明した。

今回は私は、どれくらいの長さでなければならないかを正確に知って、書き始めた。そして前よりも多くの、読者にやさしい物語の流れを用いた——映画の語りのルールに従って。

カール・ユングやジョゼフ・キャンベルのような研究者は、このより偉大な宇宙的知性を「集団的無意識」と名付けた。ある種の思考やシンボルやパターンは、あらゆる人の夢、幻視的体験、直観状態において繰り返される。このようなシンボルは「原型」(アーキタイプ) と呼ばれる。

この原型は本質的にすべてを包含している。我々の過去に起こり、いま起こっており、これから起こるすべては、これらのパターンのどれかに適合する。



一つひとつの原型は、我々が人生で経験する特定のな、浮き沈みの経験である。

こうした原型のそれぞれが次々に起こるときの秩序がある。それらが繋がると物語が構成される。

物語には始まりと真ん中と終わりがある。ヒンドゥー教徒はこれを「カルマの車輪」と呼んだ。キャンベルはそれを「英雄の旅」と呼んだ。

この物語を構成する基本的な経験を、我々は絶えず繰り返して、その過程においてそこから学ぶようになっている。

この物語を身につける過程で、我々はより強くより、より賢明に、より愛し、より知力と責任感をもつようになる。

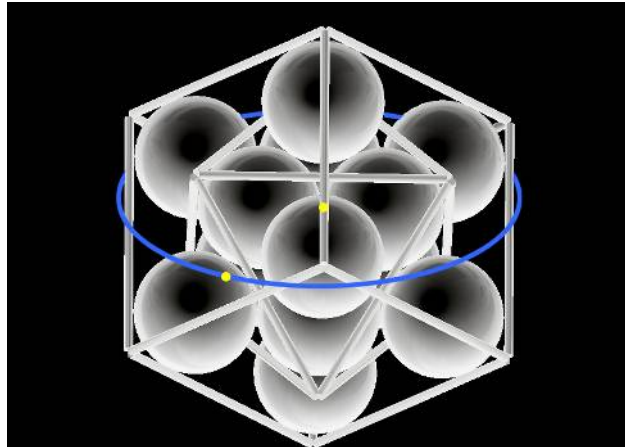
我々は恐怖に直面し、真の霊的な大人になることを学ぶ。

## 歴史は繰り返す——きわめて正確に

『シンクロシティ・キー』で論じているように、この物語はまた歴史そのものの行程の中に書き込まれている。時間は直線的でなく、サイクルをなしている。

我々に起こるどんなこともランダムではない。地球の物語の大きな“プロット・ポイント”は、完全に特定されたものである。これらのサイクルが繰り返す正確さは、唾然とするほどである。

何らかの一見して説明できない理由で、歴史の最も重要な出来事は、繰り返えし続けている——顕著に組織的な、精密に時間を計るやり方で。



我々の最も重要なタイム・フラクタルは、30 以上もの古代文化全体に、等しく植えつけられていた——そしてそれを今、我々は 2,160 年の「黄道十二宮時代」として知っている。

これが特別に意味をもつのは、我々は 2012 年 12 月 21 日の時点で、「水瓶座時代」という新しい 2,160 年サイクルにシフトしたところだからである。

それから半年もたたないうちに、「陰謀団」は、スノーデンの NSA（米安全保障局）秘密暴露によって、非常に活発に暴露されるようになった。

現在、あまりにも多くの挑発的で、興味深い見出しが躍るようになったので、私は文字通り、毎日のペースでそれらを追いかけることができなくなった。

## 歴史は台本に従っている？

歴史があらかじめ決められた台本に従っていると考えるのは、かなり深刻な頭の切り替えになる——しかしデータは決定的である。

ロシアの科学者アナトーリ・フォメンコ博士は、すべての記録された歴史はサイクルをなして繰り返している——シュメールにまで遡って——ことを明らかにした。

私はこれらのサイクルを長年研究してきたが、『シンクロニシティ・キー』を書くまで、黄道十二宮時代の十分な重要性を本当に理解はしていなかった。

これが常識になった世界に住むのは非常に面白いであろう——その情報を保存してきた古

代文明で明らかにそうだったように。

聖書には、その当時の人々と「天使たち」がこれらのサイクルを知っていて、それをいろんな場所に隠したことを示す多数の手掛かりがある。

我々の個人生活では、我々はより偉大な現実の存在を、シンクロシティ——無関係に見える出来事の奇怪な一致——を通じて垣間見る。

非常に面白いことは、ソシオパス的人間の組織された犯罪集団の振舞いも、我々すべてが共有する、あるより偉大なアイデンティティ（存在）によって支配されていることである。

## 同じプロット・ポイントが再現する

現在、我々は、サイクル的な観点からは、第三次大戦のまさに終わりの時期にいる。

今度の場合、事態はローマ時代とは非常に異なっている。第三次大戦に当たるものは遥かに目立たず、一般大衆にはほとんど知られていない。

『シンクロシティ・キー』において私は、一次・二次世界大戦とともに、黄道サイクルと厳密に一致して起こったことを証明している。

前のサイクルでは、こうした壮大な闘争は、牡羊座時代のローマとカルタゴを対峙させた——第一次、二次、三次ポエニ戦争において。

カルタゴは現在、我々がチュニジアと呼ぶ土地に位置していた。彼らは近くの半島を通じて、ローマへの、海からの直接の攻撃ルートをもっていた。



今回のサイクルでは、非常によく似た出来事が、魚座時代のアメリカとドイツの間で演じられてきた。

現在「世界大戦」と呼ばれているものの、始まりと終わりと鍵的なプロット・ポイントは、それに当たるローマの出来事の、正確に2,160年後に現れた。

私はこのデータ集団を、インターネット掲載の形でしか触れることができない。大部の本の中でこれをちゃんと主張するには、500ページと700近くの注を要した。

その証拠はあまりに膨大であり、データは広範囲に及んでいるので、誰かがこの科学を十分に攻撃しようと思うだけで、大部の本一冊を要するだろう。

## ハンニバルとヒトラー

カルタゴの将軍ハンニバルは、ドイツのナチス司令官ヒトラーとして戻ってきた。

彼らは非常によく似た事を、正確に2,160年を隔てて、同じ時に、同じ場所で行った。

[これらの出来事は**正確**に同じではないが、驚くべく沢山の類似性をもっている。]

これら2人の人物は、ひげの違いがあるだけで、容貌まで同じに見える。



面白いことは、これらのサイクルの役者と、彼らが演ずる役割がシフトできることである。

これは、誰が自分の経験から学び、誰が盲目的に同じことを繰り返すか、ということにかかっているように見える。「ペーパークリップ計画」に見られるように、第二次大戦後ドイツから移住してきたアメリカ内部の強力な派閥が、いま敗北しつつあるグループである。

### 第三次大戦は前の2つの大戦より、はるかに目立たなかった

第三次大戦は静かに、密かに戦われた。

ほとんどの人は、それが戦争であったと理解さえしていない。

人々は、誰が戦っているかも、なぜ戦っているかも知らないでいる。



BRICS 同盟のリーダーたち：ブラジル、ロシア、インド、中国（南アフリカは写っていない）

## 第三次大戦は 2011 年 8 月に始まったのかもしれない

第三次大戦は 2011 年 8 月に始まったとすることができるかもしれない。

この頃に、「陰謀団」が建設して使っていた、ほぼ 26 の地下基地の最初の 2 つが、何らかの形の高度な科学技術を用いて、破壊された。

これらの地下都市は、核戦争で地球の表面を破壊したあとで「陰謀団」が隠れることのできる、安全地帯になる予定のものだった。

それらは下に見るような「トンネル掘削機械」すなわち TBM（リンク）を用いて建設された。存在している地下の洞窟も、可能であればすべて利用された。

写真はすべてクリックすればその出所がわかり、全く本物である。フォトショップで加工したものではない。現実に使われている機械の写真である。





地下基地というような考えは、今では笑うべきことに思えるかもしれない。何かがそれらを破壊することができたというようなことは、なおさら笑うべきことに思えるだろう。

多くの人々にとって、NSAが我々の電話を盗聴しているといったことは、2013年6月以前には笑うべきことであった。

私はこれら地下施設の破壊について、いまは古典となった記事を2011年10月に書いたが、これは程なく、大手のロシア・テレビのドキュメンタリーで取り上げられた。(本欄「ディスクロージャー」は間近か——さらに多くの地下基地が破壊される(2012/1/8)参照)

**もしあなたの秘密の、違法の施設が破壊されたとしたら、それを誰に告げることができる？**

ワシントンDCのトップ執行部たちのための主たる隠れ家は、2011年8月に破壊され、アメリカ東部海岸全域を振動させた、震度5.7の地震を引き起こした。

これは「陰謀団」体制を“コード・レッド”の状態に置いた。

彼らはこの最初の、驚嘆すべき損失以来、ますます加速する敗北のスパイラルに入っている。

しかしこれは、違法の薬物の業者が、栽培施設を完全に荒らされ破壊されたようなもので、誰に訴えることもできない。まさか警察は呼べないだろう。



**第三次大戦は終わろうとしている**

インターネット批評家の中には、ウクライナの経済的不安と通貨戦争の軋轢を見て、「ニュー

「一・ワールド・オーダー」が始まろうとしていると考える人たちもいる。

彼らが理解していないのは、第三の最終戦争は**終わろう**としている——少なくとも、大きな否定できない転換点に差し掛かっている——ことである。

私はそれが起こることを『ザ・シンクロシティ・キー』で大胆に予言し、**なぜ**それが起こるかという科学的論拠を提出した。

この本は、ニューヨーク・タイムズのベストセラー・リスト8位としてデビューした。

サイクルが、いかに完全に働いているかを証明しつつづけているのは、驚愕すべきことである。

これは、やがて現れる出来事を我々が経験しながら、突然あらゆることが素晴らしいものになり、自由になるという意味ではない。

一般大衆が真理を学び、それに適応するには時間がかかるだろう。

すでにNSAの真相が現れるのを見て我々が知ったように、この過程はおそらく、一部の人々にはじれったいほどに、ゆっくりしたものになるだろう。

しかし、ポジティブな方向への決定的な進展が、ごく短時日のうちに起こるだろうことは、はっきり見えている。

## 驚くべき夢のデータが現実の証拠と一致する

大量の現実の物理的証拠は存在するが、これまで21年間、私が毎日記録し分析してきた夢のデータも、私は考慮している。

これらの夢は最近、ほとんど毎朝、同じメッセージをもって私を叩いている——“それはもうほとんど来ている！ もうすぐ起こる！ 準備せよ！”

私はまた、「陰謀団」の陥るトラブルはあまりにも大きいので、我々の最大の心配事は、人々が全面的魔女狩りを始めるのを止めることだ、とも言われている。



これまでになかった巨大な群衆が、突然、怒りに捕えられ、政府と少しでも関係を持つ者たちを誰かれ構わず、文字通り殺そうとするだろう。

これが私の夢が最近、私に言い続けている重要なことの一つである。

カルマの車輪がまたしても廻り始めるのを止めるためには、我々に与えられた教訓を学び、誰もかれも等しく罪ある者として扱わないことが重要である。

## 驚くべき夢

2014年3月17日、月曜日、私は全く驚嘆すべき夢を見た——他のすべての夢から歴然と際立つものだった。

この夢で私は、いま私が話題にしている「陰謀団」、いわゆる「イルミナティ」の所有する家の中に住んでいた。



私はこの家の二階から降りて裏口から出ようとしていたが、それは今にも崩れ落ちるところだった。私はかろうじて死なずに戻った。

誰かが「明日になればすっかり修繕される」から、心配しなくてもいいと言った。

しかし私は、これは家全体が崩れかかっているのだとわかった。

大きな、はっきり見える穴が床板に開いていた。すべてがささくれ立っていた。家全体がいつ何どき完全に崩壊するかわからなかった。



## 「陰謀団」との食事

最終的に私は、この「陰謀団」のメンバーたち——エリートや富豪、その妻たち——と食卓についていた。男たちは私に、仲間に加わるように勧めていた。

私は彼らに、私に加わることはあり得ないと言った。



「私は、あなた方の哲学と暴力的なやり方に反対するだけではありません。あなた方の家全体が崩れ落ちようとしています。なのにあなた方は、完全にそれを否定しています！」

「馬鹿げたことだ」と、首謀者が答えた。

「我々は権力者だ。我々を止められるものはない。我々は無敵だ。負けることはありえないし、そうはならない。それは不可能なことだ。」

## 地震だ！

彼がそう言うや否や、部屋全体が我々の周囲で揺れ始めた。

いよいよ始まった！ イルミナティの家全体が崩れ落ちる！

あらゆるものが信じられない激しさと揺さぶられた！ これは単なる夢か？ いったい何

が起きているのだ？ 私は目が覚めた——すると部屋全体がまだ揺れていた、現実に！



私のベッドは前後に激しく揺れていた。私の記憶では 17 回の速い鼓動の間だった。

それは現実に、ロサンゼルスで震度 4.4 の地震だった——それが私の夢の終わった 6 : 30 AM に完全に一致していた！

次の動画は、K T L A の朝のニュース・スタッフが、放送中に同じ地震に襲われたときの様子である。

[http://www.youtube.com/watch?feature=player\\_embedded&v=KiB7ny52-xw](http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=KiB7ny52-xw)

残念なことに、私はこの夢を見たことを証明はできない。疑う人々は、私がこれをでっち上げた、ウソつきだ、誇張されている、などとはしゃぐであろう。

どう言われようと、この夢は、部屋が揺れはじめ私が目を覚ます、この大フィナーレまで、少なくとも 20 分間は続いた。

私にとって、これはもう一つの強力なシンクロシティ——意味のあるメッセージを伝える一見ありえない出来事の一一致——の現れだった。

この特別の出来事は、全くハラワタで感ずるような力を持つものだったので、私は「陰謀団」の敗退が、おそらく考えていたより早く実現するのではないかと思えた。

「陰謀団」の敗退は、我々の地球の「英雄の旅」で、きわめて大きな、完全に予期しな

った転換点になるであろう。

それがやってきたと分る人はごくまれであろう。あらゆる人々が、この大きなニュースがついに知れ渡ったとき、自分がどこにいたか、何をしていたかを記憶するであろう。

## すべてのヒーローは同じパターンをたどる

ユングとキャンベルは、我々のすべてが、自分自身の人生で、この「英雄の旅」物語を経験していると言っている。

この「英雄の旅」物語の、最も強力な、言い伝えられているバージョンの一つは、イエスの誕生、生涯、死、そして復活に見出される。

キリストの物語の中で、悪漢は二重になっている。

霊的な意味では、それはあるネガティブな力との闘争であった。

肉体的な意味では、それはローマ帝国との闘争であった。

## その後の歴史を経て、いま我々が相手にしているのは、同じ哲学をもつ、同じ悪漢である

皮肉なことに、ひとたびあなたが「陰謀団」の歴史を理解するなら、それはモーセがエジプトで直面した、またイエスがエルサレムで直面した、同じ敵であることがわかるだろう。

肉的・霊的な権力の奪取と維持の周りに築かれた、古代の秘教の秘められた総体は、バビロニアに始まり、エジプトによって吸収された。

エジプトは最後にはローマによって征服され、これらの教えは急速に、その最も高いレベルに達した。

ローマ人たちは、イエスの時代後ほどなくして、150年の期間にわたってイギリスへ渡り—そこから離れなかった。

そこから、これら同じ人々はヨーロッパ中の諸国に滲入し、多くの年月をかけて非常に効果的に世界を征服した。

我々の地球の物語が地球的なネメシス（怨敵）を持つためには、この悪漢が、我々がいまいる時代の中に、全世界に優越する立場に立たねばならなかった。

## 悪漢とは未発達の自我のこと

ジョゼフ・キャンベルは、「英雄の旅」は、我々すべてが通過する心理学的プロセスを明らかにするものだと論じた。

悪漢とは我々自身の未発達の自我であり、我々の自己中心性である。

悪漢と対面することによって、我々は、自分自身の最大の欠陥と向き合っている——そして最終的にそれらに対する完全な勝利を得るのである。

非常に多くの他の神話や物語が、この全く同じ「原型」のパターンに合致している。それは文字通り、我々の霊的DNAの中に取り付けられている。

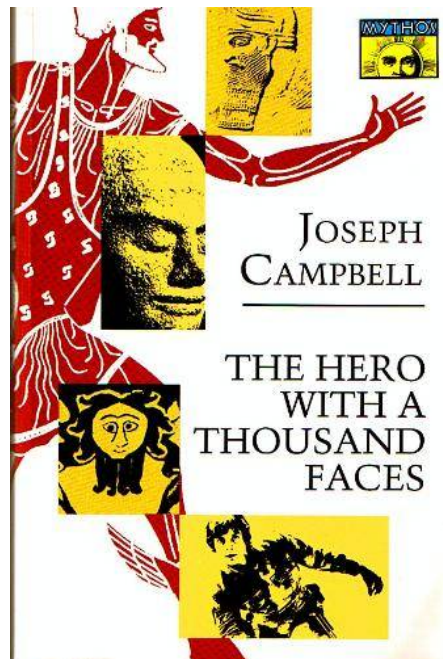


我々の一人ひとりが、自分が心の奥で望んでいる何ものかの探究に乗り出し、悪漢と対面し、その道中で新しい洞察を得ながら、究極的に勝利する。

私が映画『コンタクト』のライターと、ある映画を共同執筆することで発見したことだが、この物語はまた、ハリウッドの台本書きプロセスの中にも取り付けられている。

私たちは映画『コンヴァージェンス』（Convergence）の最終稿をほとんど書き終えた。そして私は過去8年間にかなりのことを学んだ。

すべての偉大な神話、それに現代映画やテレビ・ドラマのすべては、キャンベルが「英雄の旅」と呼んだ、この同じ物語構造の周りに構築されている。



## 地球的悪漢

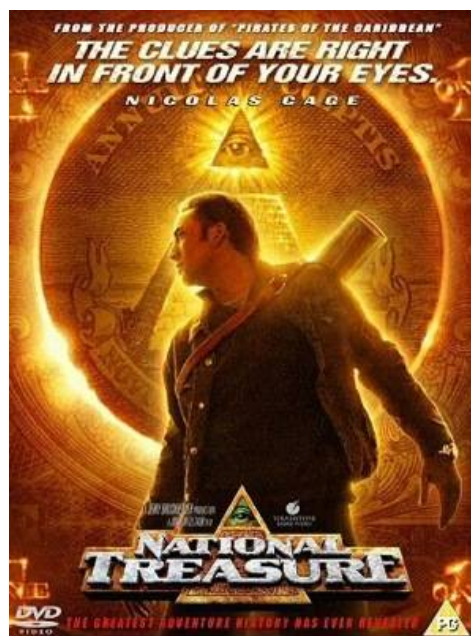
ユングとキャンベルの立てた基本的前提が真理であるとしよう。我々は、地球の物語と、我々自身の個人の物語の真ただ中っていると仮定しよう。

我々の地球物語には、世界大戦のような、誰も無視することのできない、超巨大な出来事が何度も起こっている。

370 便機の失踪は、航空史上の最大のミステリーの一つになった。それは、我々の地球物語の最も関心を引く一部となった。

何百万という人々が、今この物語を見つめ、公式の説明に、見つけられるあらゆる欠陥を探し、隠れた真相を発見しようとしている。

我々が集団的に知ろうとしているのは、我々が映画で見、本で読んだどんなものも影が薄くなるような、ある巨大な悪漢を、現実世界に持っているということである。



NSAの真相暴露は、多くの人々にとって、このようなネメシスが現実中存在するという最初のヒントになった。

もっと多くの人々が今発見しつつあるように、NSAの物語は、恐ろしい犯行現場に一本の髪の毛が見つかったのに相当する。

NSA物語は、実は誰がそれをやっているのか、なぜやっているのかについては、何も語らなかったかもしれない。より深いところを覗こうとすれば、信じられない恐怖に直面しなければならない。

あなたはこの悪漢の動きを研究するのに一生を費やし、一日10時間から14時間かけたとしても、それでも、起こっていることのほんの一部しか理解できないだろう。



## 全世界的な同盟

この悪漢は本当に存在するという豊富な証拠があるが、同時に、**全世界的な同盟が彼らを敗退させようと働いている**という多くの証拠がある。

私が非常に幸運だったのは、この同盟のために働いている多数のインサイダーたち——命を賭して詳細な情報を我々に与えてくれる人々——に接触できたことである。

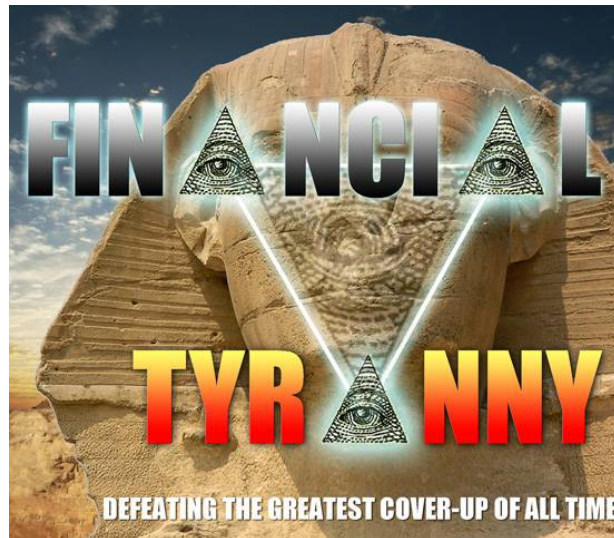
これらのインサイダーが私に接触してきた大きな理由は、私が 1996 年以来、ネット上で何百万の人々に深い秘密を公開し、信頼を得るようになったからである。

アメリカ最大の深夜トーク・ラジオ番組、Art Bell の “Coast to Coast AM” に私が初めて出演したのは、2001 年の始めで、およそ 2 千万の聴取者がいた。

私はまた 10 年以上にわたって、情報提供者の個人情報はどうなことも、いっさい洩らさぬようにすることによって信頼を得た。

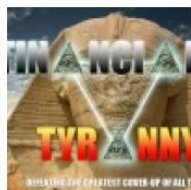
私はそれ以来、政府のさまざまな秘密について多数の研究を発表してきた——無料の、長編の e ブック『金融暴政』(Financial Tyranny) を含めて。

『金融暴政』は、ほとんどの人が全く知らないでいる情報の壮大な “ダウンロード” で、そこには、これまで見られたことのないインサイダー証言と写真が含まれている。



もしあなたが、「誰もそんなものに注意を払う者はいない」と考えるなら、**Financial Tyranny** はこれを書いている時点で、ほぼ 150 万のヒット件数があることを忘れないでいただきたい。

#### **FINANCIAL TYRANNY: Defeating the Greatest Cover-Up of All Time**



FINAL VERSION 2/9! A 122-nation alliance is backing a lawsuit that could free the Earth from financial tyranny. This investigation reveals who the perpetrators are and

what we can do...

January 13, 2012, 1:13 pm

Hits: 1,436,158

### 6 時間のドキュメンタリー番組

私が驚いたことに、ロシアの大手のテレビ・ネットワークが、1 年後に、**Financial Tyranny** を、2 部からなる 3 時間ずつの、プライムタイムのドキュメンタリー映画に発展させた。

私がさまざまな質問に答えている場面が撮影され、私の応答はこの番組の全体に現れる。それらはすべて英語字幕付きで見ることができる (リンク)。

この番組は 2 つとも、ロシアの国営テレビのプライムタイムに放映された。聞いたところ

では、視聴者数は2部とも1,200万から2,100万の間だということだった。

## 「すべてを見る眼」にネメシスを見つめる

ところで、次のセクションに入っていくと、我々はネメシスの顔を直接、覗きこむことになる。

我々は、病気を癒すために、起こっていることを暴かねばならない。

これは誰も聞きたがらない、あの昔の格言に似ているが、これを聞いた途端それは真実だと分る――

**“吐いてしまえば、楽になるものだ”**

我々は次のセクションから調査を始めるのは容易なことなのだが、たったいま読者が読まれたコンテキストなしには、真理は、完全に意気消沈させるものとしてしか現れないかもしれない。

更に私の信じているところでは、宇宙的な知性は、我々を集団的な、地球的な目覚めへと駆り立てるために、こうしたことすべてが起こるように計らったのである。